

胃病変の中には、胃癌の組織発生に代表されるように、その発生が背景粘膜の腺領域と密接な関係を持っていることが知られている。今回の企画の目的はそれらの胃病変と腺領域との関係をもう一度見直し、整理しておくことにあった。いずれの論文においても蓄積された十分な症例に基づいて、悪性、良性を含めて既に指摘されているいくつかの病変の発生が腺領域と一定の関係を有していることが再確認されており、それらの診断に背景粘膜の腺領域の見極めがいかに重要であるか理解されると思う。

今回、腺領域との関係で新たに登場した病変はなかったが、腺境界領域に対する認識の仕方や診断法に新たな展開があった。特に *Helicobacter pylori* と腺境界領域あるいは萎縮境界との関係は新たな問題として注目される。胃粘膜の萎縮が加齢に伴う生理的現象ではなく、*Helicobacter pylori* の持続感染に伴う粘膜変化であり、必ずしも不可逆的なものでないならば、腺境界は除菌によって本来の位置に戻り、従来の腺境界領域と胃病変との関係も大きく変わってくることが考えられ、今後の展開に興味が持たれる。

胃と腸

12月号 (第32巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定価 (本体2,100円+税)

主題／胃 sm 癌の臨床—m・sm₁ と sm₂₋₃ との鑑別を中心に

序 説	胃 sm 癌の細分類—治療法選択の指標として	大阪医科大学名誉教授	大 柴 三 郎
主 題	胃の m・sm ₁ 癌と sm ₂₋₃ 癌との鑑別—X 線・内視鏡診断の現状	南風病院	西 俣 寛人・他
	胃の m・sm ₁ 癌と sm ₂₋₃ 癌との鑑別—内視鏡診断の現状	東京医大・4 内	川 口 実・他
	sm 胃癌に対する超音波内視鏡による診断能の検討	北里大東病院・内科	木 田 光広・他
	胃の m・sm ₁ 癌と sm ₂₋₃ 癌との鑑別—超音波内視鏡検査の有用性と限界	国立がんセンター中央病院・放射線診断部	水 口 安則・他
	EMR された胃 sm 癌—病理診断の問題点	社会保険中央総合病院・病理	北 村 成大・他
	EMR された胃 sm 癌—外科的追加手術施行例	名古屋市立大・1 内	横 山 善文・他
	内視鏡的粘膜切除術を施行した胃 sm 癌の臨床経過	信州大・光学医療診療部	赤 松 泰次・他
	リンパ節転移の有無からみた胃 sm 癌の腹腔鏡下手術の適応	大分大・1 外	北 野 正剛・他
リフレッシュ講座	〈大腸検査法②〉内視鏡検査—腫瘍性疾患	秋田赤十字病院・胃腸センター	工 藤 進 英

胃 と 腸 (第32巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802

E-mail: itocyo @ nna.so-net.or.jp

1997 年 11 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,100 円 + 税) (配送料 124 円)

1997 年年きめ予約購読料 29,600 円

(増刊号 4,400 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1997, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター (03-3401-2382) の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 小松原・土田・小林・長谷川